

15:10 【主】のことがサムエルに臨んだ。

15:11 「わたしはサウルを王に任じたことを悔やむ。彼はわたしに背を向け、わたしのことを守らなかったからだ。」それでサムエルは怒り、夜通し【主】に向かって叫んだ。

15:12 翌朝、サムエルはサウルに会いに行こうとして早く起きた。すると、サムエルに、「サウルはカルメルに来て、もう自分のために記念碑を立てました。そして向きを変えて進んで行き、ギルガルに下りました」という知らせがあった。

15:13 サムエルはサウルのところに来た。サウルは彼に言った。「あなたが【主】に祝福されますように。私は【主】のことがを守りました。」

15:14 サムエルは言った。「では、私の耳に入るこの羊の声、私に聞こえる牛の声は、いったい何ですか。」

15:15 サウルは答えた。「アマレク人のところから連れて来ました。兵たちは、あなたの神、【主】に、いけにえを献げるために、羊と牛の最も良いものを惜しんだのです。しかし、残りの物は聖絶しました。」

15:16 サムエルはサウルに言った。「やめなさい。昨夜、【主】が私に言われたことをあなたに知らせます。」サウルは彼に言った。「お話しください。」

15:17 サムエルは言った。「あなたは、自分の目には小さい者であっても、イスラエルの諸部族のかしらではありませんか。【主】があなたに油を注ぎ、イスラエルの王とされたのです。」

15:18 【主】はあなたに使命を与えて言われ

ました。『行って、罪人アマレク人を聖絶せよ。彼らを絶滅させるまで戦え。』

15:19 なぜ、あなたは【主】の御声に聞き従わず、分捕り物に飛びかかり、【主】の目に悪であることを行ったのですか。」

15:20 サウルはサムエルに答えた。「私は、【主】の御声に聞き従い、【主】が私に授けられた使命の道を進みました。私はアマレク人の王アガグを連れて来て、アマレク人たちは聖絶しました。」

15:21 兵たちは、ギルガルであなただの神、

【主】にいけにえを献げるために、聖絶の物の中の最上のものとして、分捕り物の中から羊と牛を取ったのです。」

15:22 サムエルは言った。「【主】は、全焼のささげ物やいけにえを、【主】の御声に聞き従うことほどに喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。」

15:23 従わないことは占いの罪、高慢は偶像礼拝の悪。あなたが【主】のことがを退けたので、主もあなたを王位から退けた。」

主はサムエルにサウルを退けることを告げました。サムエルはそれをサウルに告げますが、サウルは言い訳をして非を認めようとしません。そこでサムエルは「聞き従うことは、いけにえにまさる」のだと、サウルを諭します。

サウルは見える部分にしか目が行かない人でした。自分が主に従っていないのに、ただ戦いに勝ったからということで、自分を誇る記念碑を建ててしまいました。自分の功績を宣伝する行為です。謙遜な人は自分の誇りになるようなことは極力避けるものです。

またサウルは「主にささげるためです」と、勝手に自分のものとして戦利品を持ち帰りました。

主はそのようなささげものを喜ばれません。信仰の行為をしているようでも、その動機は自分の喜びのためであるような奉仕は、主に喜ばれないのですから、気をつけましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

